



Exploring a New Lifestyle from Omishima

新しいライフスタイルを 大三島から考える

今治市伊東豊雄建築ミュージアム展覧会 2017年7月1日スタート

ディレクター | 伊東豊雄 プロジェクトメンバー | 伊東建築塾 + 伊東豊雄建築設計事務所 + 神奈川大学曽我部・吉岡研究室

会期 | 2017年7月1日(土) ~ 2018年6月15日(金) 開館時間 | 9:00 ~ 17:00 休館日 | 月曜日(祝日の場合は原則翌日振替)、年末

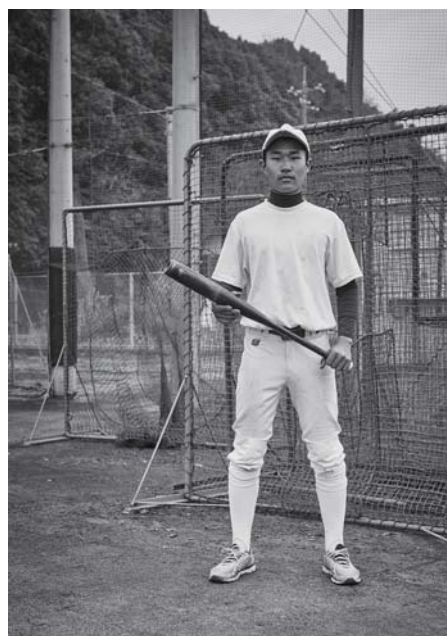
観覧料 | 一般...800円、学生...400円 ※団体(20名以上)、65歳以上は2割引、高校生以下または18歳未満無料、障害者とその介助者1名無料

Period: 1 July 2017 to 15 June 2018 Opening hours: 9:00-17:00 Closed on Mondays, the day after national holidays and 27 to 31 December.

Admissions for Adults aged 18 to 64: 800 yen Students: 400 yen (students are required to present their student ID card)

※Groups (20 persons or more) and elderly over 65 are entitled to a 20% discount off

Children, high school students under 18 and persons with disability (with certification and an attendant): Free



新しいライフスタイルを大三島から考える

Exploring a New Lifestyle from Omishima

瀬戸内の美しい多島海の中央に位置する大三島は、人口約6,000人を有する、瀬戸内海で5番目に大きな島です。温暖な気候に恵まれ、みかんを中心とした農業が盛んで、冬から春にかけてはさまざまな種類の柑橘が景色を彩ります。また、島の中心部には日本総鎮守と呼ばれる大山祇神社が鎮座し、歴史ある「神の島」としても知られています。

この地に日本初の建築ミュージアムとして開館した今治市伊東豊雄建築ミュージアムでは、今夏、展示を全面的にリニューアルします。本展では、伊東豊雄が塾長を務める伊東建築塾や神奈川大学曾我部・吉岡研究室が中心となり大三島にて取り組んでいる11のプロジェクトを紹介するとともに、写真家の西部裕介が撮影した大三島の人々の写真を展示します。

地方創生が叫ばれる今、伊東豊雄は独自の方法で島づくりに取り組み、経済に勝る豊かさのビジョンを描こうとしています。「土地に接した暮らし・時間を大切にする暮らし・自給自足を目指す暮らし・シェアする暮らし」の実現に向けて、空き家を改修して「大三島みんなの家」として活用したり、耕作放棄地を借りてぶどうを栽培し、ワイナリーをつくったり、自分たちの手で小さな旗を立てようと試みます。個々の活動はいずれも小さなものですが、こうした地道な活動を積み上げることで、新しいライフスタイルを大三島から考えていきます。

Omishima is located in the middle of a chain of islands in Seto Inland Sea. With a population of approximately 6,000 people, it is the fifth largest island in the region. The warm climate makes it a perfect place to farm mandarin oranges, and people can enjoy a variety of citrus species that dapple the landscape in infinite shades of orange from winter through spring. The island is also known for its rich local history and Oyamazumi Shrine that houses Oyamazumi God, the God of Land. Hence, Omishima is also known as the “Island of Divinity”.

As the first architecture museum built in Japan, the annual exhibition at the Toyo Ito Museum of Architecture, Imabari City will be renewed this summer. The exhibition will showcase 11 ongoing projects run and developed by Ito Juku and Studio Sogabe and Yoshioka (School of Architecture, Kanagawa University) and also photographs that reflect the lifestyles of the people from Omishima, taken by photographer, Yusuke Nishibe.

Local revitalization has caught on the trend in recent years, but we aim to engage in community development on the island with our own ways to find new values that cannot be measured by economic terms. In order to achieve a self-sufficient and sharing lifestyle that is in close contact with earth and values time, we have been trying to set up many small flags with our very own hands, including renovating a vacant house and transforming it into “Home-for-All” on Omishima, turning unused farmland into vineyards and recently starting a winery. We hope to explore a new lifestyle for tomorrow from Omishima by accumulating these small steps, one by one.



伊東豊雄 Toyo Ito

1941年生まれ。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」「みんなの森 ぎふメディアコスモス」「台中国立歌劇院(台湾)」など。ヴェネチア・ビエンナーレ「金獅子賞」、ブリツカー建築賞など受賞。

Born in 1941, Toyo Ito graduated from the Department of Architecture, Faculty of Engineering, University of Tokyo in 1965. His major works include Sendai Mediatheque, 'Minna no Mori' Gifu Media Cosmos, and the National Taichung Theater (Taiwan R.O.C.).

1



みんなの家を一日一度は寄ってみたい場所にします

Making "Home-for-All" on Omishima a place to gather daily

新しい出会いや発見があつときめいたり、懐かしさを感じてほっとしたり、家のようにくつろげる、地元の人・移住者・観光客がつながる場所にします。

2



「物々交換」によって都会と島の記憶を交換します

Exchanging memories through a swapping system

使わなくなったお気に入りの何かが、誰かにとっては価値を持つものかもしれません。そのような雑貨や本、洋服を、記憶と共に他の誰かが受け継げば、お金で買えない付加価値になります。貨幣を使用せず、「もの」と「もの」で記憶を交換します。

5



「さざなみ園」を気軽に立ち寄れるやさしい場所にします

Making Sazanami-en a pleasant place where anyone can visit easily

今治市さざなみ園は、障がいを持つ方々の暮らしを支える場です。会議室を改修してカフェをつくりました。家具の製作や庭づくりを、通所者の方々や地域の高校生らと共同しながら進めています。みんなが立ち寄り交流できる、やさしい場所にします。

6



©Yusuke Nishibe

島から発信！海、山、畑に囲まれた新たな農業ライフ

Sea, mountains and fields - a new agricultural life on Omishima

自然と共に生きる島の農家さんが育てた柑橘や野菜は格別です。一方で後継ぎ不足や農地荒廃など深刻な問題を抱えています。少しでも農業の魅力を伝えたい、農業に触れて農作物を味わってみてほしい！島の農家さんと一緒に5つの活動を始めます。

9



海辺の小学校をロマンティックなホテルに変えます

Renovating Furusato Iko-no-ie into a romantic inn beside the seashore

木造小学校の古い面影を活かし、島の自然を満喫できる宿を改修。観光で訪れた方や島民が気軽に集える新たな地域の拠点になります。

10



©Ayumi Yoshino

島の景色をゆったりと楽しめる新しいモビリティ

Developing a new mode of transportation to enjoy the island's beautiful sceneries

ヤマハ発動機が開発した、島を周遊するのにぴったりの電動アシスト自転車「05 GEN」と、縁側のような電動モビリティ「06 GEN」。よりゆっくり、より近く。人と場所、人と人の縁を結ぶ新しいモビリティです。



「参道」を花と光で夢の道に変えます

Coloring the approach to Oyamazumi Shrine with flowers and light

地域の住民と一緒に、みんなの家の前庭をはじめ、大山祇神社参道を花で彩ります。夜は参道を明るく行灯でつなぎ美しく演出することで、参道を昼も夜もいつも歩きたくするような魅力的な道にします。



「公民館+図書館」を「みんなの広場」に変えます

Redesigning Omishima Community Center and Library as a place for all

大三島公民館・図書館のエントランスホールを舞台に、島の人たちが気軽に、自由に利用できる「みんなの広場」をつくります。ここから新しい出会いや物語が生まれ、人びとのにぎわいが参道へ続いていく、島の大切な場所の一つとなります。



2020年に瀬戸内初のワインで乾杯します

Making a toast with the first wine from the Seto Inland Sea region by 2020

2020年には、大三島のぶどうと醸造所で瀬戸内完全生産のワインを目指して、大三島みんなのワイナリーのみんなで関わることがおいしさになるナチュラルワインづくりをします！



島のワインで誕生日を祝う「オーベルジュ」をつくります

Designing an auberge to hold birthday parties with wine from Omishima

海を見渡す南向きの傾斜地に、植物に囲まれて食事を楽しめる温室のようなレストランと、海を眺めながらゆったりとした時間を過ごせる客室を備えた小さなオーベルジュをつくります。



はじめてみよう！大三島ライフ 小さな移住計画

Life on Omishima – a small immigration plan

都市と島の暮らしについて、ヒアリングを元にモデルケースを作成しました。島に移住すれば、満員電車での長い通勤から解放され、すぐそばに自然がある豊かな余暇の時間を見つけられます。あなたはどんな生活をしていきたいですか？

主催 | 今治市、NPOこれからの建築を考える 伊東建築塾

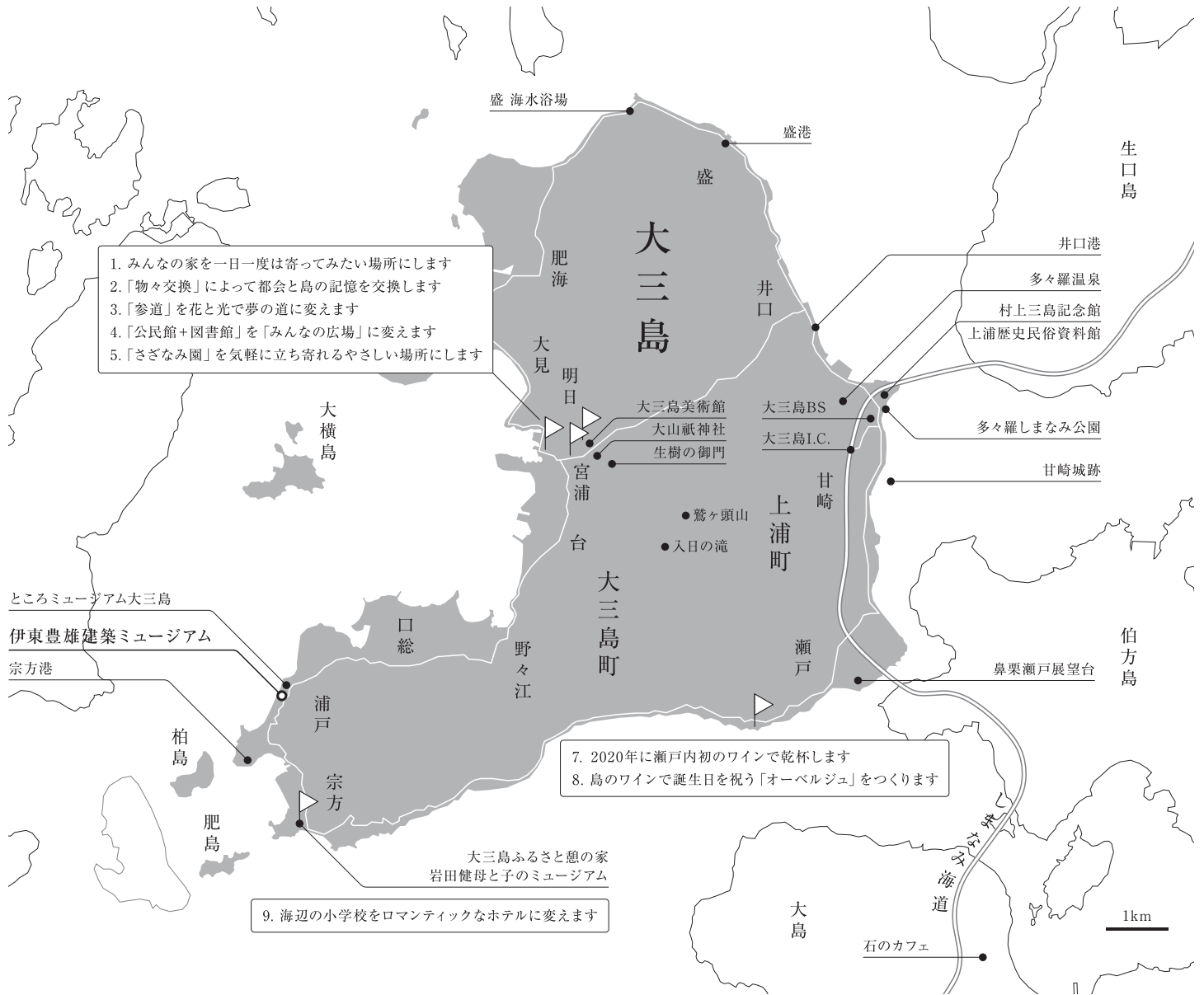
協力 | 相原世玲奈、相原幸彦、市川貞男、1 plus 7、井上貞子、井上正道、今治北高等学校大三島分校、海sora&花結び、小沢 潤、Elena Hasbun、大内正清、大三島の自然を守る会、大三島ふるさと憩の家、大三島みんなのワイナリー、越智敬三、小野山隆司、オミシマコーヒー焙煎所、きつねのぼたん、菅 昭十四、菅 伸六、菅 章庫、関東学院大学、菅 則子、菅 正矢、神原俊治、神原 匠、Kelly Jo Kikuchi、コンテンポラリーズ、Jishac、芝浦工業大学、瀬戸洋樹、瀬戸寿会、大心、田坂石油、旅館茶梅、遠山正道、中村 彬、中村真未、西岡 錦、西原昭廣、日本デザインセンター原デザイン研究所、伯方塩業、花澤家族農園、PAVILION、藤原造船所、藤原正富、藤原慎、藤原ルミ、藤原善和、ふれあいサロン大空、ベジベジ自然農園、榊田直人、丸山鉄夫、丸山ひろろ子、三島電業社、ミネルバ、ヤマハ発動機、レストランよし川、吉川 努、Limone

ディレクター | 伊東豊雄

プロジェクトメンバー | 伊東建築塾(石井 海、岡野道子、木平岳彦、小迫欣弘、近藤奈々子、ジョイス・ラム、関戸沙里、高野洋平、田中裕美子、山口絵莉一、吉村隆之)、伊東豊雄建築設計事務所、神奈川大学曽我部・吉岡研究室(曽我部昌史、吉岡寛之、丸山美紀、長谷川 明)

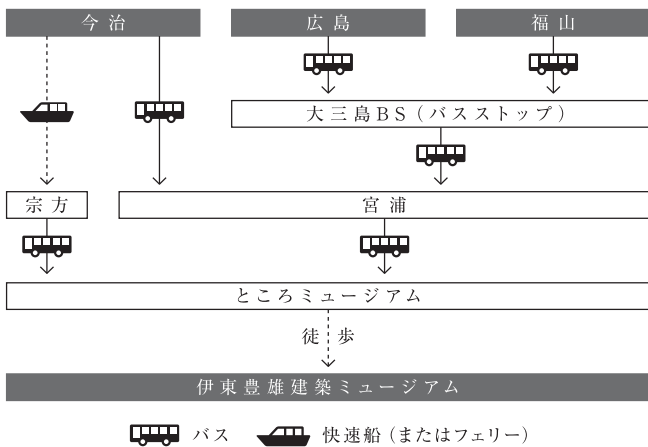
アドバイザー | 柳澤 潤、金田充弘、藤江和子、藤森泰司、石橋亜紀、山崎誠子、東 建男、古林豊彦
写真 | 西部裕介、高橋マナミ、吉野 歩 映像 | 田中英行、長良将史、TO NINE Inc.、LIFELOG Inc. 音楽 | 石田多朗 グラフィックデザイン | 丸山智也

プロジェクトマネージャー | 古川きくみ



アクセス Access

JR／バスでお越しの方は



お車でのお越しの方は

●瀬戸内しまなみ海道・大三島ICから約25分 ●タクシー：上浦交通有限会社 Tel:0897-87-2400

中国[広島市・福山市]側から

●JR／バス：広島バスセンターまたは福山駅前→しまなみライナーにて「大三島BS」下車・乗換→島内路線バスにて「宮浦港」下車・乗換→島内路線バスにて「ところミュージアム」下車→徒歩約3分
 四国[松山市・今治市]側から

●JR／バス：松山駅(JR)または松山市駅(バス)→今治駅(JR)→特急(または急行)バスにて「宮浦港」(または「宮浦農協」)下車・乗換→島内路線バスにて「ところミュージアム」下車→徒歩約3分
 ●船舶：今治港→快速船(またはフェリー)にて宗方港→島内路線バスにて「ところミュージアム」下車→徒歩約3分

今治市伊東豊雄建築ミュージアム 〒794-1308 愛媛県今治市大三島町浦戸2418

2418 Urado, Omishima-cho, Imabari-shi, Ehime, Japan 794-1308 Tel:0897-74-7220 Fax:0897-74-7225 Mail:info@tima-imabari.jp Web:www.tima-imabari.jp